

在校生・保護者の皆様へ

平成 26 年度 防災対策のご案内

帝京八王子中学校・高等学校

本校では以前より防災対策を講じておりましたが、平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災の教訓を得て更に防災対策を見なおし、物資や設備・対策マニュアルなどの整備を行ってまいりました。このご案内は現時点で、学校に通学する生徒として知っておくべきこと、本校にお子さんを通わせている保護者の方として知っておいていただきたいこと、今のうちに備えておいていただきたいことをまとめたものです。そのような日が来ないことが何よりではありますが、近い未来に大きな直下型地震が首都圏を襲うであろうという警告も発せられています。災害に現時点でできる備えをすることの大切さを、皆様と共有したいと思えます。

1. 現時点で帝京八王子が行っている防災対策

① 校舎・体育施設などの耐震対策

- * 建物の耐震診断と耐震化工事
- * 窓ガラスの飛散防止加工
- * 下駄箱などの固定による避難経路の確保

② 防災物資の備蓄と点検

- * 非常食と飲料水 3 日分 (×全生徒)
- * エマージェンシーブランケット (×全生徒)
- * パスタ 1 食・アルファ米 2 食・クラッカー 1 食・ハーベスト 1 食 (×全生徒)
- * 水ペットボトル 500mL 2 本 (×全生徒)
- * エアーマット (×400 個)・寝袋 (×240 個)
- * 非常用のトイレ・衛生用品
- * 手回し発電式ラジオ付懐中電灯 (×全生徒)

} ARKⅢセット品

③ 発電機の設置 (4 号館)

4 号館の 1 階と 2 階で間引きした照明を点け、エアコンを稼働し、中庭の受水槽にある水を屋上の受水槽に揚水するためのポンプを動かすことができます。使い方によっても大きく変わりますが、最大出力で 30 時間、節約して 3 日程度の発電機用燃料の備蓄があります。

④ 防災マニュアルの策定

⑤ 防災訓練・防災教育の実施

⑥ その他

私立学校の学校間情報伝達訓練、ニッポン放送への学校安否情報伝達訓練、私学の防災ネットワーク (避難校ネット)・地域の防災ネットワークへの参加、など

- * 避難校ネットは、東京の私学が中心となり、登下校中の生徒が震災に遭った際に最寄の私学を頼って行き、その情報を私学同士で通知しあうというものです。

2. 大規模な災害に遭った時

東日本大震災では、交通機関（鉄道・道路）の麻痺・混雑、携帯電話・固定電話の不通や混雑・メール着信の遅延、地域によっては広域の停電が起きました。さらに、テレビ・ラジオなどの情報の途絶、水道の送水の中断などのライフラインに関する障害に加え、怪我や火災などの危険も予想されます。

① どこであろうと、自らの身体・生命を守るための行動を起こす。

天井や棚などの落下物からの防御、火災の発生の防止、避難経路の確保、初期消火、応急手当、必要に応じて救急車などの手配を行う（依頼する）、など

② 在宅時 → 登校はせず、各家庭で安全を確保してください。

③ 学校内にいるとき

→ まず、教職員の指示に従うこと。

→ 無理な帰宅はさせず、生徒の皆さんを学校内に留め置きする方針です。

保護者の方が引き取りにおいでになった場合、順次帰宅させます。

④ 登下校の途中

* 電車・バスなどの公共交通機関内 → まず、係員の指示に従う

* 家庭の近くならば帰宅を、学校の近くならば学校への避難をする。

* 都内の私立中学校・私立高等学校へ避難し、避難校ネットを活用する。

* とりあえず近くの避難所（指定された小・中学校など）へ避難をする。

3. 各家庭での備え

① 最低でも3日分の防災備蓄物資（食料・水）、救急セット、ロウソク類などの非常持ち出し袋を備える。できれば7日分とされています。

② 自宅の被害状況によっても変わる内容ですが、「自宅に戻ってみて、誰もいなければ〇〇小学校（〇〇中学校）に行き、親が捜しに来るまで動きまわってはいけない。」など、**再会のためのルール作り**を行っておく。

③ 災害伝言ダイヤル（171）や web171 の連絡方法を確認しておく。

4. その他の留意事項

① 学校からの情報は、ホームページの帝京八王子ニュースや緊急メール配信を通じて行う予定です。ただし、負傷者の救護や被害状況の把握などの最優先事項を行った後になりますので、被害が軽微であっても数時間後となると思われます。東日本大震災では、メールの『センターへの問い合わせ』を行わないと受信できなかった例もありました。

② 大きな災害時にはパニックになる人が出ることも考えられます。できるだけ一人にならないようにしましょう。例えば、学年クラスを問わず帝京八王子の生徒数人で固まって行動するなどして、無用の難を避けるようにしましょう。

③ 学校では保健室で軽微な怪我の手当てができる程度です。それを超えた場合救急車対応となります。救急車がなかなか来れない場合には、400mほど八王子寄りの上川口小学校が災害医師派遣場所となっていますので、そちらまで搬送して手当てを受けることになります。